# Doronko

子育てから世界は変わる。

Doronko group どろんこ会グループ法人一覧


**株式会社ゴーエスト**

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR渋谷ビル13階
TEL 03-5766-8060
FAX 03-5766-8061

**株式会社日本福祉総合研究所**

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR渋谷ビル13階
TEL 03-5766-8070
FAX 03-5766-8071
一般労働者派遣事業 許可番号：販13−304532

**社会福祉法人どろんこ会**

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR渋谷ビル13階
TEL 03-5766-8050
FAX 03-5766-8051

**株式会社南魚沼生産組合**

〒949-6416
新潟県南魚沼市大木六37
TEL 025-788-0840
FAX 025-788-0841

**株式会社Doronko Agri**

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR渋谷ビル13階
TEL 03-4363-5651
FAX 03-5766-8061


JAB MS CM025 / PERRY JOHNSON REGISTRARS, INC.

社会福祉法人どろんこ会（本社 運営部）は2016年4月1日
“保育サービス提供”でISO9001:2015の認証を受けました。
（認証登録番号：C2016-01073-R1）

bsi / ANAB ANSI National Accreditation Board ACCREDITED ISO/IEC 17021-1 MANAGEMENT SYSTEMS CERTIFICATION BODY

EMS 771356 / ISO 14001

どろんこ会グループの下記4施設は2022年10月28日に、
環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001:2015」の認証を受けました。
朝霞どろんこ保育園（埼玉県朝霞市）/ ふじみ野どろんこ保育園（埼玉県ふじみ野市）/
メリー★ポピンズ エスパル仙台ルーム（宮城県仙台市）/
子ども発達支援センターつむぎ 浦和美園（埼玉県さいたま市）

Doronko コーポレートサイトはこちらから

新卒採用サイト

中途採用サイト

Doronko
どろんこ会グループ

経験して、知る。
背中で、教える。

## “子どものにんげん力”を育む
## 「私たち大人のにんげん力」

子どもたちにはいつも目をギラギラとさせて意欲ある顔をしていてほしい。20代の頃に1園目の保育園をオープンして以来、ずっとそう願ってきた。これから先の人生で待っているであろうたくさんの試練に対し、そっぽを向いたりあきらめたりせずに、まずは自分で切り拓き乗り越えてゆこうと思う気持ちを育んであげたい。私たち「子育て者」は、人生の一番はじめのこの人格形成期に子どもたちが獲得すべき“真に必要な直接体験”を、時代の変化と共にひたすら追求し続けなければならない。

自然の中に足を運び、“痛い、汚れるなどの体験”を通じて、命をはじめとするさまざまな環境を自ら認識し、太陽の下で自由に体を動かし、お腹が空いておいしいご飯を食べ、ぐっすりと眠る。意欲ある素敵な表情は、このプラスのサイクルから生まれてくるのだ。

さまざまな他者との“モノの取り合いなどのトラブル”を通じて、立場や特性や意見が異なる人が生活・遊び・労働を共にしていることを知る。折り合いをつける力は、この思うとおりにならない経験の積み重ねから後天的に身についてゆくのだ。

そして、何よりも必要なのは、これらの“子どものにんげん力”を育む「私たち大人のにんげん力」である。生活と遊びは子ども自身が選択する。道具の使い方・遊び方・うた・広い社会での危険回避力・仕事・環境への意識は、私たち大人が背中で教える。大人が常に学び続け、自らの意思と判断のもとで全ての子をたくましく育ててゆく。

そんな日本を創りたい。

株式会社日本福祉総合研究所 代表取締役
社会福祉法人どろんこ会 理事長

安永 愛香

株式会社ゴーエスト 代表取締役
株式会社南魚沼生産組合 代表取締役
株式会社Doronko Agri 代表取締役

高堀 雄一郎

## 福祉、農業、酪農、林業、漁業…
## 子育て支援を中心に、地域を良くする。
## 日本を良くするために
## 私たちは挑戦を続けます。

急速に進むIT化、AI技術の進化、メタバース（仮想空間）の出現。私たちを取り巻く環境は激変しています。今後、人口減少も相まって、無くなる産業も確実に出てくるでしょう。

それでも人格形成に多大な影響を与える児童福祉領域は必ず残り、IT化が進む中で子どもたちの心を育む私たちの仕事の重要性はますます大きくなると確信しています。日本の未来を左右する可能性もある私たちの職務は、一生を懸けるに値する尊いものです。

子どもたちに必要な体験を私たち大人が本気で用意する。環境に恵まれていないからなど、できない理由を探すのではなく、率先し、工夫して実現する。にんげん力を育み、生き生きと前向きに歩む心を育むことが私たちの責務であり、やりがいです。

そして、必要な体験を考えたとき、私は日本の原風景を想像します。

生活に必要な物がまとまっている風景。それは昭和までの農村部の風景かもしれません。生活のためにヤギや鶏を飼い、ふんが堆肥となり、畑や田んぼの肥料となる。化学肥料は使わずに安心な食料を自給する。燃料は山にある木から調達し自然と共存する。子どもたちに用意すべき環境や体験は、生きることに直結する一次産業が多いことに気づきます。

一方で一次産業の多くが後継者不足等の理由で廃業を余儀なくされており、大きな社会課題となっていますが、地域活性化の観点からも守り、後世につないでいくべきと考えています。子育て支援を中心に、子どもたちの人格形成のために、地域のために私たちは何ができるか？

地域や日本という広い視野で物事を考え、挑戦する職員集団、そんな風土を持った法人グループを目指します。

## どろんこ会の歩み

**1992**
- 就労支援事業を開始。

**1998**
- 児童発達支援・放課後等デイサービス・就労継続支援B型の併設施設「つむぎ 武蔵野ルーム」を開所。
- 給食用有機野菜の生産を行う株式会社Doronko Agriを設立。

**1999**
- グループ初となる児童発達支援センター「子ども発達支援センターつむぎ 浦和美園」を開所。

**2003**
- 本部を東京都渋谷区に移転。

**2005**
- 全国に先駆けたインクルーシブ保育モデルの展開を開始。
- 認可保育園と児童発達支援事業所の子どもたちが共に生活する併設施設「駒沢どろんこ保育園」と「つむぎ 駒沢ルーム」を開所。

**2007**
- 本部を東京都渋谷区に移転。

**2010**
- グループ初となる児童発達支援事業所「つむぎ 荻窪ルーム」を東京都杉並区に開所。

**2013**
- 株式会社南魚沼生産組合を設立。新潟県南魚沼市に田んぼを確保し、ライスセンターも建設。植え付けから、収穫・精米・発送まで給食米の完全自給自足を実現。

**2014**
- 社会福祉法人どろんこ会を設立し、埼玉県朝霞市にグループ初となる認可保育園「朝霞どろんこ保育園」を開園。本部を「朝霞どろんこ保育園」2階に移転。

**2015**
- 株式会社日本福祉総合研究所を設立。翌06年、グループ初の事業所内保育所受託運営を開始。本部を「メリー★ポピンズ kids北朝霞ルーム」内に移転。

**2016**
- 学童保育事業を開始。新潟県南魚沼市にて3～5歳児の田植え・稲刈り体験を開始。本部を「メリー★ポピンズ 朝霞台ルーム」内に設置。

**2018**
- 朝霞市根岸台に百坪程度の農地を借りて、どろんこ農園開始。（当時はポピンズ農園）

**2022**
- 有限会社ゴーエストを設立。（その後、株式会社へ組織変更）
- グループ第1号園「メリー★ポピンズ朝霞南口ルーム」（朝霞市家庭保育室）を開園。
- 保育業界で初のコンピテンシーを作成し運用開始。
- 高堀と安永が大学在学中に、埼玉県志木市で学習塾の運営を開始。進学希望者のみならず、不登校や障害のある生徒など、さまざまな生徒の学習を支援。

# 人も食も仕事も循環し、
# 全ての人が「生きる力」をもって、
# よく生きられる社会を創る。

創業時からの25年間、子育てにおいて「インクルージョン」をキーワードに、障害の有無にかかわらず「混ざる」「ジブンで選択する、自己決定する」ことを大事にした事業を展開してきました。
次は、保育や支援の現場でも健常者・障害者が共に働く未来を創るため、グループ内で調理や用務、農業スタッフとして就職できるように、農業と就労支援事業をスタート。農業では減農薬や有機農法で米や野菜を生産して給食食材を自給自足し、その給食残渣とヤギや鶏のふんを活用した有機肥料集合プラントを建設することで食の循環も実現します。
人も食も仕事も循環させることで、0歳から人生を終えるその時まで、全ての人が「生きる力」をもってよく生きられる社会を創ります。

ホンモノの食農体験

給食残渣などを活用した有機肥料農業

保育・教育・発達支援

守る・分ける福祉から、
ジブンで選ぶ・社会を生きる福祉へ

Doronko

農業
（減農薬・有機栽培）

学童保育
放課後等デイサービス

就労支援

生活・遊び・労働を教え合う

健常児・障害児が頼り合い、手を差し伸べ合う

どろんこ会グループでの仕事の創出




ジブンの好き・得意を探すための多様な職業経験

働く大人と共に過ごす環境で、

職業への興味関心を醸成する

園長大学®・保育士大学

保育業界を、学び続ける業界へ

※園長大学® は株式会社日本福祉総合研究所の登録商標です。

BUSINESS
01

# 認定こども園・認可保育園・学童保育などの運営

株式会社ゴーエスト
株式会社日本福祉総合研究所
社会福祉法人どろんこ会

## 認定こども園、認可保育園、学童保育を はじめとする子育て支援事業を全国で展開

認定こども園、認可保育園、東京都認証保育所、院内・事業所内保育所、学童保育、病後児保育室、地域子育て支援センターの運営、一時預かり事業を実施。株式会社、社会福祉法人のもつそれぞれのメリットを生かしながら、全ての施設において同じ理念、子育て方針を掲げ、運営しています。畑仕事、ヤギ、鶏の世話、雑巾がけ、銭湯でお風呂の日。私たちは子どもたちにとって真に必要な体験を追求し、「にんげん力」を育みます。

## 共通理念のもと、広々とした園庭のある施設から 駅ビル内の施設まで各地の個性を生かした 子育て環境を実現

広々とした園庭に棚田のある園、雑木林を生かした園、閑静な住宅街にもかかわらずどろんこ遊びや畑仕事ができる園庭のある園がある一方、駅ビル内という抜群のアクセスながら屋上の園庭で思い切りどろんこ遊びのできる園など、それぞれの土地の特徴、地域性に合わせた施設整備を行っています。
たとえ環境が異なっても「今、子どもたちに必要なことは何か」、「どんな環境や経験が成長につながるか」を本気で考え実践するスタッフの創意工夫こそが、子どもたちの「にんげん力」を育みます。

万博公園どろんこ保育園

GOOD DESIGN 2018年受賞
一宮どろんこ保育園

JR駅ビル内保育園
メリー★ポピンズ アトレ大森ルーム

子育て支援センター ちきんえっぐ
駒沢どろんこ保育園

BUSINESS
02

# 発達支援

社会福祉法人どろんこ会

## 「今、この課題ができればいい」ではなく、 子どもたちの未来を見据えた 「生きる力」を獲得する発達支援

児童発達支援センター・事業所および放課後等デイサービス「つむぎ」では、「今、この課題ができればいい」ではなく、子どもたちの学齢期、さらには大人になった時を見据えた「生きる力」を獲得する支援を行います。子どもたちが「やりたいことを選ぶ環境」を創り、見る力・考える力・運動機能・感覚機能を育むために戸外活動を積極的に行っています。そして10より100の経験をできるよう、発達支援のスペシャリストが個々に合わせた効果的なプログラムを提供しています。

子ども発達支援センターつむぎ 浦和美園

## 障害の有無で子育てを分けない インクルーシブ保育を推進する どろんこ会グループの多機能型発達支援

障害児・者を「守る・分ける福祉」から「ジブンで選ぶ・社会を生きる福祉」へと変えるために立ち上げたのが「つむぎ」です。駅近でアクセスのよいビルのワンフロアで運営するテナント型の児童発達支援事業所を皮切りに、兄弟姉妹が暮らす大きな木のおうちを彷彿とさせる子ども発達支援センター、さらに認可保育園との併設型、放課後等デイサービスや就労支援を備えた多機能型と、インクルーシブ保育を推進、発展させています。

テナント型事業所
つむぎ 荻窪ルーム

認可保育園×発達支援
宮下どろんこ保育園×つむぎ 宮下ルーム

発達支援×放課後等デイサービス
つむぎ 生田ルーム

BUSINESS 03

# 就労支援

社会福祉法人どろんこ会

**「守る・分ける福祉」から**
**「ジブンで選ぶ・社会を生きる福祉」へ**
**農福連携で人生の選択肢を広げていく**

就労支援「つむぎ」が目指すのは、誰もが自分が選んだ場所で家族や友人と暮らし、自分が選んだ仕事に就いて、自分自身の人生をよく生きるため、就労や社会参画の場も創り、従来の「守る・分ける福祉」から「ジブンで選ぶ・社会を生きる福祉」へと変えていくことです。グループ内の法人の連携を活用し、農業への従事、保育園での調理、カフェでの販売など、「こなす作業」を割り当てるのではなく、自分の「仕事」を持つ「職業人」として働ける場を創っていきます。

BUSINESS 04

# 米・野菜の生産・販売

株式会社南魚沼生産組合
株式会社Doronko Agri

**給食米の完全自給自足を実現**
**次は減農薬・無農薬野菜の栽培と提供に挑戦**

食への意欲を育み、田植え・稲刈りといった直接体験を通じて食の循環を学べるよう、新潟県南魚沼市に田んぼを確保し、ライスセンターも建設しました。今では給食米の完全自給自足を実現しています。また同市では耕作放棄地を引き継ぎ、地域の農業維持にも貢献しています。米作りにおいては子どもの食の安全を確保するため減農薬栽培に挑戦。野菜も同様に栽培するため株式会社Doronko Agriも設立し、関東近郊の農地を中心に土地の確保を進めています。

BUSINESS 05

# 保育事業コンサルティング

株式会社日本福祉総合研究所

認可保育園と児童発達支援センターの多機能型施設（東京都東大和市）

主な事業内容①

**子育て支援施設の民営化に伴う開設・運営、**
**街づくりや土地活用等のコンサルティング**

株式会社日本福祉総合研究所では、どろんこ会グループのシナジーを生かした子育てを基点とする街づくりや土地活用のコンサルティング、公立保育所の民営化、認可保育所と児童発達支援事業所の多機能型モデルの提案などの実績が多数あります。

【事例】
- 東京都東大和市に全国でも例の少ない「認可保育園x児童発達支援センター」の多機能型インクルーシブ施設の整備を提案し、協定を締結。
- 東京都目黒区、千葉県君津市、新潟県南魚沼市など自治体初の民営化を実践。
- JR川崎駅「アトレ川崎」、JR仙台駅「エスパル仙台」など駅ビルや商業施設での開設も多数。

JAXA筑波宇宙センターの事業所内保育所開設コンサルティング及び受託運営

主な事業内容②

**院内・事業所内保育所の**
**開設コンサルティング・受託運営**

豊富な運営実績とノウハウに基づいた柔軟な保育サービスの提供と、企業力強化につながる保育所開設のコンサルティングを行っています。

【主な取引先】
株式会社ブリヂストン ｜ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA） ｜ ヒューリック株式会社 ｜ 株式会社セブン-イレブン・ジャパン ｜ 株式会社ビックカメラ ｜ エスビー食品株式会社 ｜ 神奈川県立がんセンター　など多数

BUSINESS 06

# 学び事業

株式会社ゴーエスト
株式会社日本福祉総合研究所
社会福祉法人どろんこ会

主な事業内容①

**保育の質を高めるために**
**スタッフ同士が教え合い、学び合う土壌を創る**

どろんこ会グループでは受け身ではなく能動的な学びを大切にしています。園内・外部研修のほか、スタッフ各々が専門知識や得意をシェアして皆の力にする社内講座を開催。年齢や役職に関係なくスタッフ同士が教え合い、学びを深める機会を創っています。
さらに海外で学ぶ「デンマークインターンシップ研修」も設け、保育の質の向上を目指します。

主な事業内容②

**日本の保育を更新する園長大学®・保育士大学を開校**
**保育士等キャリアアップ研修の実施**

教育の在り方が変わりゆく今、旧態依然な保育業界を更新するため、全国の園長・保育士向けに「事業計画・採用面接・会議運営・職員育成など園長に不可欠な研修」「保育士として手に入れたいゼネラル・スペシャルスキルを得るための研修」「新たな教育を理解し行動変容につなげる研修」「生きる力ある園長・保育士であり続けるための幅広い研修」を提供します。

理念

# にんげん力。育てます。

**「にんげん力」を身につけるために必要な遊び・野外体験を提案実践し、**
**“自分で考え、行動する思考”を育み、**
**若者が「0を1に変える力」で課題や困難に向き合うたくましい未来を創ります。**

私たちは、言うことを聞く子を育てるのでも、指示を待つ子を育てるのでもありません。
私たちは、困ること・思うようにならないことがあれば、人に尋ね、自分で考え、周りと相談して行動してゆくように支援します。
子どもを言葉で動かさない。大人が指示しない。
大きな家を自由に行き来し、兄弟姉妹が生活・遊び・労働を教え合う。
環境を構成し、材料を配置して、乳幼児期に経験しておくと良いであろう機会を10よりも100創る。
それが私たち、どろんこ会グループの子育てです。

子育て目標

## センス・オブ・ワンダー

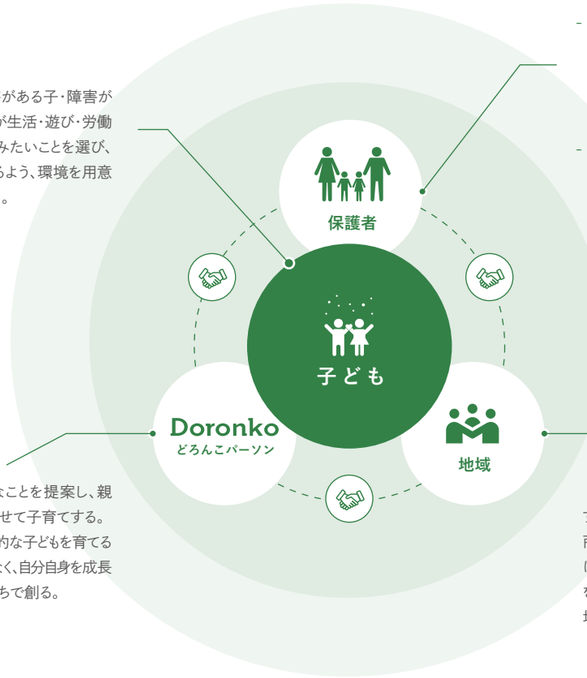
子どもが“畑仕事・稲刈り・ヤギや鶏の世話などの労働”や、“自然の中での体験”を通して、ものの性質や身近な事象・生命の尊さ・食材や食の循環に気づくことができるように、10よりも100の経験の機会を創り、子どもが“したいと思う活動”を安全に行えるように見守り、支援してゆきます。

## 人対人コミュニケーション

園外では「すれ違ったすべての人」と挨拶を交わすことを園の約束としています。銭湯でお風呂の日、商店街ツアー、青空保育など地域交流を実施し、一人でも多くの人と挨拶を交わし、一つでも多くの仕事を目にする機会を用意し、“感じたこと・考えたこと”を言葉で、ジェスチャーで、表情で、描いて、造って、表現できる子どもを育成します。

運営理念

全ての大人が、障害がある子・障害がない子・幼児・乳児が生活・遊び・労働を教え合い、やってみたいことを選び、日々を暮らしていけるよう、環境を用意し、見守り、支援する。




- 写真・連絡帳・ブログに加え、子育てを協働する者として、朝は速やかなお見送りを、夕は「3分間お迎え対応」を実施し、お子様の様子・成長を手に取るように保護者にお伝えします。
- 民間だからこそ保護者目線の子育てサービスを提供します。

①オムツパック・着替えは事前にお預かりし、“手ぶら登園”を実現。
②いつでも専用アプリで食事追加・保育予約。
③毎日の散歩時のお茶・行事時のお弁当は全て園が用意。
④発熱時の無理なお迎えの要請はしない。

一人ひとりが必要なことを提案し、親に代わって背中を見せて子育てする。生きる力のある能動的な子どもを育てるために、受け身ではなく、自分自身を成長させる機会を自分たちで創る。

すれ違う人との挨拶・銭湯でお風呂の日・商店街ツアーといった地域交流を大切にし、地域の方が自由にキッチンやカフェを利用できるよう園舎・園庭を開放し、地域子育て支援に積極的に取り組む。

どろんこの生活と保育の特徴

- 7:00 順次登園 園庭遊び・自由遊び
- 8:15 水分補給・午前補食・排泄 さくらさくらんぼリズム体操・うた
- 8:30 座禅・雑巾がけ
- 9:00 泥遊び・自然体験開始／散歩出発 畑仕事・生き物のふんの始末や 小屋掃除・裸足保育 途中、水分補給
- 11:45 0・1・2歳児順次昼食開始 ／縁側給食 水分補給 着替え・歯磨き
- 12:15 3・4・5歳児昼食開始 ／縁側給食 水分補給 着替え・歯磨き
- 12:30 0・1・2歳児午睡
- 13:00 3・4・5歳児午睡
- 14:30 起床・排泄・手洗い
- 15:00 おやつ・水分補給
- 15:25 午後の活動／外遊び・散歩
- 日没 室内活動へ
- 18:30 片付け・水分補給・排泄
- 19:00 夕食

FEATURE 01

## 「生きる力」を育むデイリープログラム

**人生のはじめの人格形成期・性格形成期に**
**リアルな経験を通じて生きる力を育む**

「遊び」「生活」は、子ども自らが関わり選択できる環境を構成します。
就学に向けた「体力作り」「広い社会での危険回避力」「社会生活との関わり」「自分の仕事をする」「発表力・伝達力・傾聴力」「文字や数字の活用」「環境への意識」などは、大人が背中を見せ一緒に行い指導します。

座禅

雑巾がけ

さくらさくらんぼリズム体操

ヤギ・鶏の小屋掃除・ふんの始末

畑仕事

裸足保育

縁側給食

商店街ツアー

銭湯でお風呂の日

FEATURE 02

## 異年齢保育・インクルーシブ保育

**年齢の違いや障害の有無に関係なく**
**全ての子が頼り合い、ぶつかり合い、教え合い、**
**共に暮らす保育**

年齢が違う子同士、障害の有無関係なく、どの子もやってみたいこと・思いどおりにならないこと、全て実際に経験します。
私たちは、0～5歳児が共に暮らし、頼りたい相手・遊びたい相手・遊びたい場所を子ども自らが選択し、行動できるようにするために“ゾーン保育”を実施しています。また、認可保育園と発達支援つむぎの併設施設では子どもたちは共に活動しながら、発達支援の専門士がつむぎ利用児童一人ひとりの発達状態に応じたきめ細かな支援も行っています。

# どろんこで働く人々

Doronko Person 01

読売ランド前どろんこ保育園
2021年度 新卒入社 3年目
古田 めい

## 毎日新しい発見を
## 子どもたちと楽しめる環境が好きです!

メリー★ポピンズ 稲城ルーム
2018年度 新卒入社 6年目
宮尾 勇輝

Doronko Person 02

## まずやってみるの精神で
## 自ら体験して学びながら成長しています!

### 相談しやすい職場の雰囲気や
### 先輩の温かいサポートがあるので
### 安心して働くことができます!

■ どろんこ会グループに入社を決めた理由を教えてください。

私の地元は山や海が身近にあり、幼い頃から自然の中でよく遊んでいました。そんな経験もあり、大人になった時に自然を自分の居場所の一つのように感じたことがあったんです。子どもたちにもそんな経験をしてもらえたら良いなと思い、自然体験を大切にするどろんこ会グループへの入社を決めました。

■ 実際に入社してみて、どうでしたか?

どろんこ会グループは戸外活動が多いので、1日の時間や季節の変化を子どもと一緒に楽しめるのは、とても素敵なことだと感じています。

また職場は、先輩が「めい先生はどう思う?」と私の意見を聞いてくださり、他のクラスの先輩にも相談しやすい雰囲気です。子どもたちにとってより良い環境が実現できるように、毎日スタッフ同士が話し合って取り組んでいる姿に圧倒されました。

■ 入社当初、不安はありましたか?

毎日が不安でしたが、ミスをしても「これを直せば大丈夫だよ」と先輩の温かいサポートがあったので、何とか頑張ることができました。落ち込んでいる時も励ましてくださる先輩が多くて、職場の皆さんの存在が心強く安心して働くことができています。

■ 今はどのような仕事をしていますか?

今は0歳児を先輩と2人で担当しています。

■ 日々の業務で心がけていることはありますか?

子どもたちが登園した時に1日の始まりを気持ち良く過ごせたら良いなと思い、おもちゃの整理整頓をしてから帰るようにしています。

他には、季節の花を子どもたちの目に入る場所に置いてみたり、先日はクラスの子たちが初めて絵の具で遊んだので、その時の楽しい時間を思い出してもらえたらと思い、みんなが遊ぶ部屋に飾りました。

■ 古田さんの働くやりがいを教えてください。

0歳児でも子ども同士の関わりが増えてきて、楽しそうに遊んでいる姿を見るとうれしくなりますね。これまで取り組んできた活動が、実を結んできているのかなと。子どもの成長を身近で感じられることに、とてもやりがいを感じます。

■ どろんこ会グループで良かったと思えることはありますか?

毎日散歩に行くのですが、その場で見つけたもので遊びが展開しやすいのは戸外活動ならではですし、その様子から子どもの成長に気づくとうれしくなりますね。

先日、0歳児クラスの子どもたちとイチョウの葉がたくさん落ちている場所に行ったのですが、いつもは走り回らない子がうれしそうに走り出したのを見て、赤ちゃんでも心が動かされる瞬間があるんだなと思うと、とても感動しました。

散歩の時間も長いので、その間に子どもたちと一緒にたくさんの発見ができることが、私はとても楽しいです。

■ オフはどのように過ごしていますか?

同期の仲が良く、よく食事に行きます。先日は、学生時代に同じ園を見学した同期と一緒に食事に行ってきました。

### ダイナミックな遊びを展開し、
### 子どもが喜ぶ姿にやりがいを感じます!

■ どろんこ会グループに入社を決めた理由を教えてください。

どろんこ会グループの子育て目標である「センス・オブ・ワンダー」を、ちょうど大学で習っていたんです。自然の中でダイナミックな活動ができるのではないかと思い、どろんこ会グループの取り組みに興味を持ちました。他には、いろいろなチャレンジができる大きな園で働いてみたかったことも入社を決めた理由の一つです。

■ どろんこ会グループならではのやりがいはありますか?

子どもとダイナミックな遊びを楽しめることですね。体を動かすことが得意なので築山スライダーでも先陣を切って遊んだり、公園でも本気で走っています!

■ どろんこ会グループの魅力を教えてください。

自分で考えた企画を実現しやすいことですね。他のスタッフと協力しながら準備をしたり、企画が成功して子どもたちが楽しんでいる姿を見るとやりがいを感じます。

■ 宮尾さんが最近取り組んだことはありますか?

朝の集まりで、子ども同士のコミュニケーションが少ないと感じたことがあったんです。そこで、みんなで輪になって隣にいる子に「おはよう」とリレー形式で声をかけていく「おはようリレー」を思いつき、最近始めました。まだ挨拶が苦手な子もいるのでコミュニケーションのきっかけとして、継続して取り組みたいです。

■ 4年間勤めて、気づいたことはありますか?

後輩を育てるのも、子どもを育てるのも似ていると思います。一人ひとり個性がありますし、伝え方ひとつにしても、その時々でやり方を変えながら学んでいます。特に子どもには、対等な立場に立つことを日頃から意識していますね。子どもだから許される、子どもだからできないとかではなく、一人の人として関わるようにしています。

■ 宮尾さんが考える、
どろんこ会グループならではの取り組みを教えてください。

スタッフ同士が教え合い、学び合う勉強会・研修がたくさんあります。

先日は僕も講師として登壇しました。

機会は多くても、学んだことを伝えて実践しないと意味がないので、会議の時に施設のスタッフに共有したりと日々の活動につなげられるように心がけています。

■ どろんこ会グループに入社して良かったと思うことを教えてください。

自ら体験して学びながら成長する機会が多いことです。いろいろな失敗もありましたが、失敗してあきらめるのではなく、失敗から次のチャレンジにつなげられるように考えて取り組んだり、周りの先生方もサポートしてくださる環境がとてもありがたいです。

■ 休暇は取りやすいですか?

取りやすいと思います。昨年の夏休みは、10連休を取りました!

# どろんこで働く人々



## 子どもたちに必要な活動を
## 自分たちで企画して実現できる環境があります!

Doronko Person 03

メリー★ポピンズ 南砂ルーム
他法人9年経験で中途入社
どろんこ会 7年目

小松 直美

## 年間計画プロポーザル制度が新しい環境になじむきっかけになりました!

■ どろんこ会グループに興味を持ったきっかけを教えてください。

どろんこ会グループの理念である「にんげん力。育てます。」がとても印象的でした。他にも、自然体験を大切にしていたり、鶏やヤギを飼っていたりと、自分が知っている保育園と異なる取り組みをしていたこともありますね。

■ 何が「入社の決め手」となりましたか?

年間計画をスタッフみんなで話し合って決めていたことです。これまでは毎年決まった計画をこなしていたのですが、どろんこ会グループでは行事も自分たちで作り上げていく過程が楽しかったですし、ワクワクしました!

■ どろんこ会グループに転職して良かったことを教えてください。

これまでの自分の経験を生かしながら、「子どもの主体性を追求する」という新しい取り組みに挑戦できたことが良かったです。入社前は新しい環境になじめるか不安でしたが、年間計画プロポーザル制度がコミュニケーションのきっかけになりました。

■ どろんこ会グループの職場環境はいかがですか?

スタッフ同士、お互いに協力し合う風土があると思います。1人で悩んで抱え込まず、「苦手だから相談してみよう」とか「得意だからやりますよ」というのが、自然にできる環境です。また施設数が多いので、横のつながりも心強いと思います。自分が勤務する施設以外にも、何かあった時に相談できる仲間がいるのは安心ですね。

## スタッフ一人ひとりの魅力を引き出すのは、施設長ならではの役割だと思っています!

■ 施設長として、日頃から心がけていることはありますか?

どろんこ会グループでは決められた行事や活動はなく、それぞれのスタッフが企画し実現しているのですが、一人ひとりの得意分野に巻き込みながら形にすることを心がけています。スタッフ一人ひとりの魅力を引き出すのは、施設長ならではの役割だと思いますね。

■ スタッフの魅力を引き出すために、大切にしていることを教えてください。

スタッフの得意分野や魅力は、仕事以外の会話から発見することが多いと思います。なので、できるだけ仕事以外の会話が弾む機会を創れるように心がけていますし、何よりスタッフが楽しそうにしている姿を見るのがうれしいので、私も一緒になって楽しんでいます。

■ スタッフがミスをした時の対応で、心がけていることはありますか?

まずはスタッフのことを信じる。そして、本人と直接対話をすることを大切にしています。例えば、書類が滞っている時は、手を抜いたりサボろうとしているのではなく、一生懸命やっているけど何かできない理由があると思うんです。その理由を見つけて一緒に解決するために、しっかり対話することが必要だと思っています。

■ これから入社する方々に向けて、メッセージをお願いします。

保育士はとても素敵な職業なので、スタッフには「保育士になって良かった」と思ってほしいです。さまざまなキャリアパスが描けることも当グループの魅力ですので、保育士のスペシャリストでも施設長でも本部のサポート役でも、どんな形でも保育に携わっていてほしい。

大変なことも多いですが、他の仕事では経験できないやりがいがありますよ!

## 一緒に働く仲間には保育に携わって良かったと思ってもらいたいです。

読売ランド前どろんこ保育園 施設長
他法人26年経験で中途入社
どろんこ会 10年目

Doronko Person 04

松久保 陽子

Doronko Person 05

大豆戸どろんこ保育園 栄養士
2020年度 新卒入社 4年目

工藤 詩織

## 「子どもたちの食べる意欲を育むこと」が
## どろんこ会グループの食育だと感じています!

■ どろんこ会グループに興味を持ったきっかけは何ですか?

子どもが好きで子どもと関わる仕事がしたいという思いで、保育園での就職を考えていた際に、どろんこ会グループを知りました。会社説明会に参加した時に「にんげん力。育てます。」という理念を聞き、ワクワクしたのが興味を持ったきっかけです。

■ どろんこ会グループに入社を決めた理由を教えてください。

年間計画プロポーザル制度が1番の決め手ですね。

全スタッフがこの制度に参加でき、保育士ではないから子どもに関わらないのではなく、職種に関係なく全スタッフが子どもと関わることができ、子どもの成長を見守っていくという点に心を引かれました。

実際に、同僚や先輩と話し合いながら子どもたちのためにできることを考えている時はあらためて入社してよかったと感じます。

■ どろんこ会グループの栄養士で良かったと思うことを教えてください。

グループ内の他園の栄養士とつながりを持つことができることです。定期的に幾つかの園の栄養士が集まって食育会議をするのですが、悩んだ時は、そこで知り合った先輩に相談しています。自分の中だけでは解決できないことへのヒントを得ることができて心強いですし、他園と情報交換することで視野が広がると感じています。

■ どろんこ会グループの食育への取り組みについて、どのように感じていますか?

食育=クッキング活動と考えるのではなく、日々の保育の中で「子どもたちの食べる意欲を育むこと」が、どろんこ会グループの食育だと感じています。

例えば、子どもの給食の残量が多いと感じた時に、野菜の下処理を手伝ってもらうことでその日の給食への興味につなげるなど、特別な活動をするのではなく、日々の保育の中でどうすれば子どもの食べる意欲を育めるかを考えることが楽しいです。

■ これまでの仕事の中で印象に残るエピソードを教えてください。

日々の子どもたちとの関わりが大きいですね。なかでも子どもたちと一緒にさつまいも掘りをした経験が印象に残っています。

さつまいもの苗植えには興味を示さなかった子が、葉の生い茂る様子を見て興味を持ち始め、収穫時には泥だらけになって楽しそうに収穫していた姿は忘れられません。

さつまいも掘りを終えた後も、給食のメニューでさつまいもが出ると、当時楽しかったことを子どもたちが話してくれて、子どもたちにとっても思い出に残る経験になったのだと感じています。